

特集

淡海の博物館・美術館

いきなりですが、滋賀県内に「博物館」が全部で何館あると思いますか？ おそらく50より少ない数を挙げる方が多いのではないかと思いますが、実は200を超えると考えるのが妥当です。そのおよそ半数にあたる87館（2007年11月現在）が加盟する「滋賀県博物館協議会」は、今年で設立から25年を迎えました。今回は、同協議会の活動を紹介します。

さまざまな博物館施設

考えてみると、博物館施設だからといって「博物館」と名乗っていないと限りません。「資料館」「ミュージアム」など別の名前を名乗りながら、実質的に博物館として活動している施設も多いのです。そもそも「資料館」と「博物館」の違いって何でしょう？ 一般的には「博物館」を名乗ることができるのは相応の規模を備えた大きな施設だという考え方があるようで、そんな立派な規模ではないと考える施設が遠慮がちに「資料館」を称することが多いようです。

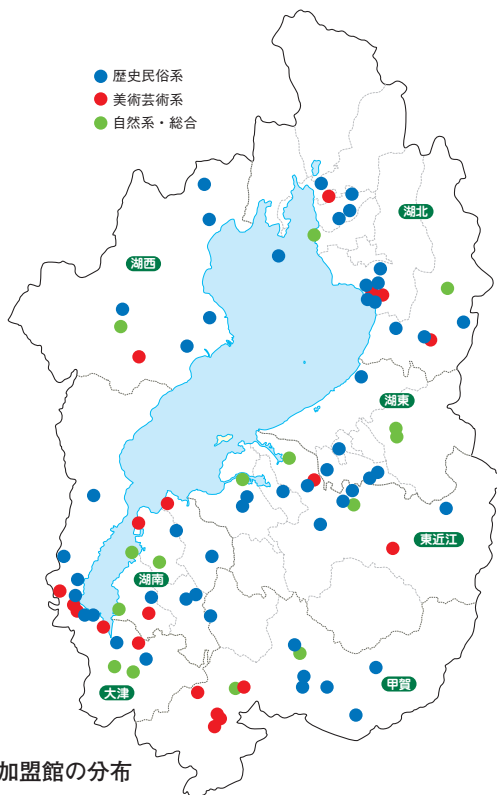
逆に言えば、ただそれだけの「名前」の「違い」に過ぎません。

理屈のうえでは、「学術資料」を研究対象として整理保管（収蔵）し、展示などの社会教育（生涯学習）活動に役立てている施設はすべて博物館です。ですから、その「学術資料」がどの

ような分野のものであるかに応じてさまざまな種類の博物館施設があります。対象とする分野によっては、その分野に応じて「美術館」「科学館」「動物園」「植物園」「水族館」などといった別の名前と呼ばれる施設もあります。これも博物館の一種ということになります。

このように多種多様な博物館施設は、研究成果や利用成果を互いに競う関係にあります。その一方で、互いに協力しあうことでおのの利益につながることもあるだろうということとで、そのための連絡組織が、いろいろと結成されています。この組織には、対象分野を限定したものと分野を越えたものがありますし、全国的なものとは地域限定的なものがあります。

このうち、地域限定的なもの1つが「滋賀県博物館協議会」です。「滋賀県」という地域のみを共通項として、公立か私立か、規模、分野などは問



滋賀県博物館協議会加盟館の分布

わずに集まっている、博物館施設の連絡組織です。種類を限定するよりも、むしろさまざまな特色を持った博物館施設が1つに集まることで、質の違いが生まれてくることを期待しているという側面があるかもしれません。加盟館数は現在87館です。全国の多くの都道府県に同様の組織があり、各々に特色ある活動をしているようです。組織の名乗りも「博物館協議会」「博物



主任学芸員（地球物理学）
戸田 孝

滋賀県内の博物館・美術館を紹介する巡回パネル展を開催中（写真は、滋賀県立近代美術館での大津エリア16館の展示）





加盟館を紹介した出版物（右より）
『滋賀の博物館・美術館ガイド』
『滋賀県の博物館ガイドブック』
『淡海の博物館』



これまでの活動

館連絡協議会」「博物館ネットワーク」など、地域によってさまざまです。

「滋賀県博物館協議会」という名前
の組織は1969（昭和44）年に発足
していますが、いったん自然消滅し
てしまい、1982（昭和57）年に再
発足しています。再発足当初は琵琶
湖文化館が事務局を勤めていました
が、近代美術館を経て、現在は琵琶湖博
物館が担当しています。

再発足から10年余りの間は、加盟
館同志での情報交換が主な活動内容
でした。具体的には、博物館事業に
関する話題に関するシンポジウムや
専門技術に関する研修会、あるいは
新規加盟館の見学会などです。また、
加盟館を対象とする広報誌「しが県
博協だより」を1989（平成元）年
から毎年発行して情報交換活動を充
実させてきました。これらの活動は
現在も続けられています。

その一方で、加盟館を紹介する出
版活動も行ってきました。1987（昭
和62）年には再発足5周年を記念して
『滋賀の博物館・美術館ガイド』、1
994（平成6）年には10周年（少し
遅れましたが）を記念して『滋賀県
の博物館ガイドブック』を出版しま
した。いずれも一般書店には並ばな
かったのですが、目にされた方は少な
いと思いますが、1999（平成11）年
には文部省（当時）のネットワーク

推進事業の資金を利用して、一般書店
で販売できるガイドブック『淡海の博
物館』の出版を実現しました。そして、
このガイドブックの内容を元にして、
2001（平成13）年には、各加盟館
の詳しい紹介をインターネットで公開
するようになりました。このようにし
て、協議会から県民の皆さんに向け
ての広報活動を本格的に行うようにな
ってきました。

2004（平成16）年には、20周年
記念事業として「淡海の博物館・美術
館スタンプラリー2004」を実施し
ました。これは、出版物などによる一
方的な広報活動に留まらず、県民の皆
さんに何らかの形で参加していただく
ことよって盛り上げようという意図
で企画したものです。このスタンプラ
リーは、予想をはるかに上回る100
0名以上の参加をいただく好評とな
りました。

なぜ広報活動なのか

滋賀県博物館協議会では、25周年
記念事業として、今までの活動をさら
に発展させた広報活動の展開を進めて
います。なぜ「広報活動」なのかとい
うと、多数の博物館施設が集まって規
模の大きな活動を展開することによ
って効果的な成果が挙げられる「スケ
ールメリット」が、広報活動において
特に期待されるからです。

昨今、「説明責任」ということが強
く求められるようになってきました。

活動成果や存在意義を「わかりやす
い形にして示す」ことが要求される
時代だということですが。このような
情勢の中で、イベント活動の展開に
よるアピールなども含めた広い意味
の「広報活動」は、説明責任を果す
ための手段として不可欠になってき
ています。

ところが、特に小規模館にとつては、
この説明責任を果すことが重荷にな
ってしまふようです。このことが典
型的に現れた1つが、電子媒体によ
る広報活動です。インターネットを
介した電子広報は10年余り前に始ま
ったことですが、そのころの先進的
な活動には、大規模館と小規模館と
の間で大きな差異はありませんでした。
ところが、その時期を過ぎて電子広
報が「あたりまえ」になってくると、
大規模館では、遅れをとったところ
でも予算を獲得して内容を充実させ
て行くのに対して、小規模館では実
現できないところはいつまでも実現
できないという「体力差」が見えて
きてしまいました。

そして、滋賀県博物館協議会の活
動は、この体力差を埋める役割を果
しています。実際、加盟館の半数程
度について、協議会が各館の活動を
紹介するページが、その館に関する
最も詳細で鮮度の高い電子広報にな
っているのです。20周年の記念事業
として行ったスタンプラリーも、各
館単独では実現不可能なアピールが



巡回パネル展
（写真は、高月町立観音の里歴
史民俗資料館での湖北エリア
19館の展示）

	2007年(平成19)		2008年(平成20)		3月～
	11月	12月	1月	2月	
大津	11/3(祝)～11/18(日) 滋賀県立 近代美術館	11/27(火)～12/24(月) 大津市歴史博物館		2/9(土)～2/24(日) 伊香立 「香の里史料館」	3/1(土)～4/13(日) 滋賀県立琵琶湖博物館
湖南	11/3(祝)～11/25(日) (財)佐川美術館	12/1(土)～12/24(月) 草津市立草津宿街道 交流館	1/5(土)～1/27(日) 野洲市歴史民俗 博物館	2/2(土)～2/24(日) びわ湖アート ギャラリー	
甲賀	11/3(祝)～12/2(日) 滋賀県立陶芸の森陶芸館		1/12(土)～1/27(日) 甲賀市水口歴 史民俗資料館	2/2(土)～2/24(日) 甲賀市土山歴史 民俗資料館	
東近江	11/7(水)～12/2(日) 東近江市能登川博物館	12/8(土)～12/27(木) 西堀榮三郎記念 探検の殿堂	1/5(土)～1/27(日) 滋賀県立安土城 考古博物館	2/2(土)～2/24(日) (財)日登美美術館	
湖東	11/3(祝)～11/25(日) 愛知川びんてまりの館	11/27(火)～12/24(月) 多賀の自然と文化の館			
湖北	11/3(祝)～12/2(日) 高月町立観音の里歴史 民俗資料館	12/8(土)～1/14(月) 琵琶湖水鳥・湿地センター			
湖西	11/3(祝)～11/25(日) 高島歴史民俗資料館	12/1(土)～12/24(月) 朽木資料館	1/5(土)～1/27(日) マキノ資料館	2/2(土)～2/24(日) 滋賀県立朽木いき ものふれあいの里	

巡回パネル展

実現できたという意味で、加盟館の間でも好評でした。スタンプラリーのために作成した地図も、各加盟館の案内活動の道具として有効利用されているようです。

このように、協議会という場で共同で広報活動を進めることで、加盟館と利用者の皆さんとの間のコミュニケーションが劇的に進展するということが実証されたと言えると思います。そこで、この方向の活動をさらに進めていこうということになったのです。

25周年記念事業では、滋賀県博物館協議会として初めての「展示活動」を行います。具体的には、各加盟館の活動を紹介します。パネルを館の数だけ作成して展示します。2008(平成20)年3月1日から4月13日までは、そのすべてを琵琶湖博物館の企画展示室に集めてギャラリー展を行います。その前後の時期に、いくつかの加盟館で、各々の地域の加盟館を紹介するパネルを展示します。

琵琶湖博物館でのギャラリー展では、展示パネルに囲まれた空間で、いくつかの代表的な加盟館を特徴づける実物資料(レプリカなど)を展示したり、加盟館の活動を紹介します。ワークショップを開催したりする予定です。また、展示室の中央には滋賀県域の航空写真パネルを置いて、どこに

どんな博物館施設があるのかが解るようにします。

ギャラリー展に先立って実施される各地域での巡回パネル展の日程は、今のところ別表のようになっていきます。ギャラリー展でのワークショップなどの詳しい内容はまだ確定していませんが、決まりしだい順次お知らせして参りますので、御期待ください。

スタンプラリー

巡回パネル展と並行する形で、20周年記念事業に引き続いて「淡海の博物館・美術館スタンプラリー」を開催しています。これは、加盟館を何館か巡ってスタンプを集めていただくというものです。6館分のスタンプを集めて事務局へお送りいただいた方には、各加盟館から提供されるミュージアムグッズ等が抽選で当たります。

スタンプラリーは2007(平成19)年11月から始まっており、2008(平成20)年8月まで開催する予定です。



「淡海の博物館・美術館スタンプラリー」応募用紙。加盟館にて配布中

ギャラリー展示

滋賀県博物館協議会設立25周年記念
おうみ
淡海の博物館・美術館

3月1日(土)～4月13日(日)

■場所：博物館企画展示室